

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くろかみ学園児童発達支援センター（放デイ）		公表日		令和 8年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりするスペースなど必要時準備している。 ・調子の崩れが見られるお子さんに対してパーテーションで視覚遮断や、部屋の分割をすることで部屋の数足りないことをカバーしていると思う。 ・パーテーションなどを使い個別の空間など提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別スペースが少ないため、ゆっくりしたい場合に場所がない場合がある。 ●次年度は、部屋の構造化など検討を行う。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	1		<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇の際に、人が足りないと思う時がある。 ●職員配置を工夫して対応されている。夏季の期間は学生アルバイト募集し、人員の確保を図っている。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子対応のトイレや手洗いがあため使用しやすいと思う。 ・車椅子の方にはまだまだ改善の余地はありそうですが、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの高さを変えれるとよりよくなると思う。 ●手洗い場については改修済。更に改善できる方法がないか検討を行う。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常に清潔に出来ていると思う。 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	1		<ul style="list-style-type: none"> ・人が多い場合に入れないことがあるため。 ●個別室は2部屋しかないので、他の部屋を小分けにするなどして対応できるよう検討を行う。 	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要がある場合は、話し合いを設けているのでいいと思う。 ・支援時間終了後の10分会議をすることで、利用されているお子さんのその日の状況や課題、次の支援に向けての道筋を考えられている。多くの職員がその支援のやり方や目的をより深く共有できるようになった。 ・業務終了前に10分ミーティングをしている。 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば、電話や、面談をしていると思う。 		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	・話し合いが行われていると思う。 ・支援時間終了後の10分会議をすることで、利用されているお子さんのその日の状況や課題、次の支援に向けての道筋を考えられている。多くの職員がその支援のやり方や目的をより深く共有できるようになった。 ・毎日支援後に支援について話す場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0	・時間がある際は研修に行かせて頂いていると思う。 ・虐待防止研修や、保護者様に向き合う時の考え方や対応の仕方について学ぶ機会（カスタマーハラスメント研修）があった。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	18	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0	・常日頃から、話し合いをすることが出来ていると思う。 ・支援の仕方や変更がある場合には、職員間で共通理解できるように申し送りノートを利用して伝達している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	1		・担当者からもっと周知してほしい。 ●年度の始めなどに職員で支援計画を共有する時間を設定する。職員個人でも確認できるように、ファイリングを見やすくする。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	1		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	18	0	・必要に応じて、話し合い検討をしていると思う。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	0	・状況に応じて、行えていると思う。 ・配置を考えて必要があれば随時変更している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	0	・10分会議にて行っていると思う。 ・支援時間終了後の10分会議をすることで、利用されているお子さんのその日の状況や課題、次の支援に向けての道筋を考えられている。多くの職員がその支援のやり方や目的をより深く共有できるようになった。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	18	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	18	0		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	0		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	18	0		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	17	1	・必要に応じて電話等で連絡が取れていると思う。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	18	0	・必要に応じて行っている。 ・要望があればされている。（保護者と本人の許可があれば）	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	17	1		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	10		・交流時間がないのかなと思う。 ●検討を行ったが交流の機会を設定するのは、現状課題が多く（時間・場所・相手など）困難。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	16	2		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0		
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	0			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	18	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	・必要に応じて電話連絡ができていると思う。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	6	・活動報告会を実施している。 ・父母の会はしていないが 活動報告会で話す機会を提供している。 ・活動報告会を設けている。	・地域によっては父母の会があると思いますが支援として会議などに参加されているかどうかはわからない。 ●保護者同士の交流は、活動報告会で実施できるよう配慮している。
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	18	0		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0		
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	7		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	0	・但し、防犯マニュアルについては安全性を考慮して（外部への）周知していない。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	18	0		
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	1	・アレルギーに対して、全体に周知が出来ていると思う。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	0		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	0		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	・すぐに、対応し反省をしていると思う。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	18	0		